

令和5年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会会議録

期 日 令和5年6月29日（木）午前9時30分から午前10時35分
場 所 雲仙市国見町文化会館 リハーサル室
出 席 者 ・ 大津善信教育長 ・ 駒田義弘教育長職務代理者 ・ 仁禮智加子委員
・ 永岡悦子委員
・ 事務局 （ 小松教育次長、富永総務課長、中村学校教育課長
林田生涯学習課長、草野スポーツ振興課長
総務課森田課長補佐（書記） ）
欠 席 者 ・ 江川儀平委員

会議日程

第1 前回会議録承認の件

第2 報告事項

- (1) 教育長の報告
- (2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画
- (3) 各課からの報告

第3 付議事項

- 議案第6号 公共施設使用料還付基準等の統一のための生涯学習課関係規則の整理に関する規則について
- 議案第7号 公共施設使用料還付基準等の統一のためのスポーツ振興課関係規則の整理に関する規則について

第4 その他

次回雲仙市教育委員会定例会の招集日程について

教育長が令和5年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 前回会議録承認の件

「前回会議録承認の件」を議題とし、令和5年度第2回定例会会議録署名委員に駒田委員及び永岡委員を指名する。

教育長

- ・特に意見、質問が無いことから、第2回定例会会議録の承認を宣言する。

日程第2 報告事項

(1) 教育長の報告

- ・教育長が月例報告について、資料により説明・報告を行い、併せて教育次長より、令和5年第2回市議会定例会における一般質問・議案質疑及び文教厚生常任委員会の報告を行う。

委員

- ・通学補助制度での保護者に対するお知らせが不十分で「周知方法を考えたい」との答弁であるが、先生が子供たちにお知らせ（チラシ）を渡して、先生方はその段階で全ての家庭に行き渡っていると思っておられると思う。実態としては、例えば授業参観を知らなかった等、そのお知らせが保護者に届いていない事もあるようだ。保護者の多くの皆さんは携帯電話を持っておられるので、安心メールやホームページを上手に使い、全世帯にそのようなお知らせが行き渡るように考えていただけたらと思う。

委員

- ・適正規模適正配置についてであるが、島原市と諫早市の報道等を取上げられて、雲仙市はどうなっているのかという質問だったかと思うが、最後あたりの答弁で「本市も本年度中には何らかの方向性、または素案的なものを答申として示せるように、今、あり方検討委員会に取り組んでいる」というような内容だったかと思うが、その年度の終わりまでに示せる状況にあるのか。

事務局

- ・あり方検討委員会からの答申を今年度中に頂くように進めており、その答申を基に、市教委の適正化適正配置の基本方針を作ることになっていると思っている。今年度中までに、基本方針をまとめる段階まで行けるかというのは、答申として頂く意見が、内容次第では少し重い内容になる場合も考えられるので、その辺は、今年度中というのは、難しいとの感覚を持っている。

委員

- ・そうだろうなと思う。今回（の質問）をきっかけに、雲仙市もそういった動きがあっているんだという事を、市民に知ってもらおうという意味では、ある意味タイムリーな質問だったと思う。それに対する、こちらの動きとして「あれはどうなっているのか？」「その後どうなったのか？」と言う風に言われても、そこは慎重にいかないといけないと思

うし、「島原市がこうしましたから」とか「早く進めない」と言う方向で行くと大変ではないかと思う。

委員

- ・リフレッシュセンターおばまの運営について、私も以前プールに行っていたが、以前の（指定管理者の）職員の方のレッスンは、すごく厳しかった。そのレッスンを調整するのが、皆さん苦勞されておられたようだ。それで、（運営方針等の協議について）市側も入らないのかと以前から思っていた。内容が悪くなったり、直ぐに対応してくれなかったりしていたので、今回、毎月1回会議が開かれる事になりとても良かったと思う。

委員

- ・部活動の地域移行について、これは新聞記事を参考に質問されたかと思うが、今まで中総体や県大会に出ることが出来なかった子が、そういった事によって、出られるようになった事は、本当に良い事だと思う。また、令和5年6月13日付の長崎新聞に雲仙市内2名の生徒による「生徒の声」という記事が掲載されていた。一つが「休日部活動の地域移行に利点」という見出しで「地域で子供を育てるという原点を見直すべきだと思う」との内容。もう一つが「部活の価値 学校だからこそ」という見出しで、「かけがえのない仲間との出会いは、自分にとって、学校の部活動だからこそ価値があった」というような内容だったと思う。本当に2人とも自分の考えを持って、しっかりと取り組んでおりうれしく思った。そのような色々な生徒の声がある中で、地域移行について、これから進んでいくわけであるが、答弁の最後の「本市の中学校の規模や、地理的条件に合った地域クラブの活動の在り方を研究し」とあり、本当にこのとおりでと思う。雲仙市には、雲仙市独特の地域性もあるので、そういったところは忘れないで、徐々に移行していけるように、雲仙市に合ったものを大事にしていかなければいけないと思った。

教育長

- ・他に意見、質問がないことを確認する。

(2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画

事務局

- ・資料により各課別に説明する。

委員

- ・神代小学校の鉄棒撤去工事が2件資料に記載されてあるが、工事名が間違っていることはないのか。

事務局

- ・五連鉄棒の撤去と高鉄棒の撤去を別々で予定していた。ただ、その後、学校との協議において、残す方向で調整することとなっている。

委員

- ・感想であるが、先日、雲仙市のふるさと平和学習に 3 校訪問し、戦時中に起きた愛野空襲とか、震洋特攻基地、航空殉難九勇士の学習があったが、子供たちはグループワークをして、みんなで話し合いながら頑張って見出しを作り発表していた。地元であった戦争を、このように取上げることはすごくいいことだなと思った。私たちは、長崎県での（原爆等の）話は聞いたことがあるが、地元での戦争の話は、子供達はあまり知らなかったようだ。自分の父に前述の話をしたら、「地元でこんな事があったんだよ」と言われ、私も聞くことが出来、すごく良かったと思う。また、長崎新聞社の方による説明も、子供たちに分かりやすく説明され、子供たちによるグループの中でも、色々な特徴があり、その子供たちの様子も見る事が出来、すごく勉強になった。

委員

- ・地域未来塾の件であるが、3名しか参加していなかったのか。愛野中学校が対象であるならば、もっと多いと思っていた。それであれば、他の中学校がもっと手を挙げるんじゃないかと思うが。試験的に、どれぐらいまで試行するのか。市内全域に広がるのか。

事務局

- ・4名の申込みがあったが、当日は3名の参加で、予定として6/22、6/29、7/6、7/13の計4回実施して、その結果を検証し、今後、広げていくのかどうか生涯学習課で議論し、教員OBの方にも協力を頂いているので、そちらの方とも相談しながら進めていきたいと考えている。

教育長

- ・現時点で何故参加者が3名なのか、何か分かっている事等があれば説明を。

事務局

- ・周知の方法をもう少し考えないといけないと感じている。

教育長

- ・他に意見、質問がないことを確認する。

(3) 各課からの報告

事務局

- ・学校教育課から、令和5年度雲仙市教育委員会学校訪問Aの日程変更及び令和5年度雲仙市教育委員会学校訪問Bについて説明する。
- ・生涯学習課から、令和6年雲仙市二十歳のつどいの開催について説明する。

委員

- ・二十歳のつどいに参加する対象者の数は、中学校の卒業アルバムから数を拾うのか。現在、雲仙市に住んでいる数なのか。

事務局

- ・この人数は、該当学年の卒業生になる。その当時の学校の卒業生の人数であり、既に世帯ごと転出されている方にも連絡が行くようにしている。

教育長

- ・他に意見、質問がないことを確認する。

日程第3 付議事項

- 1 議案第6号 公共施設使用料還付基準等の統一のための生涯学習課関係規則の整理に関する規則について
議案第7号 公共施設使用料還付基準等の統一のためのスポーツ振興課関係規則の整理に関する規則について

事務局

- ・議案資料により一括して説明する。

教育長

- ・特に意見、質問がないことを確認する。

日程第4 その他

- 1 次回、雲仙市教育委員会定例会の招集日程について、令和5年7月26日（水）午前9時30分から雲仙市千々石庁舎3階大会議室で開催することを確認する。

※定例会終了後に、雲仙市図書館の視察を実施する。

教育長

- ・ほかに意見、質問、報告等がないことを確認し、令和5年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会の閉会を宣言する。